乃木希典の殉死と森鴎外

明治は遠くなりにけり

船橋稲門会「旅の会」

「・・・午後八時、宮城を発し、十一時、青山に至る。翌日、午前二時、青山を出でて帰る。途上、乃木希典夫妻の死を説くものある。与半信半疑す。」（森鴎外の「日記」）

地下鉄千代田線の乃木坂駅を降り、地上に出たところに乃木神社があります。その一角に乃木希典の邸が残されています。大正元年九月十三日の夜、青山斎場で明治天皇の大葬が行われ、東京市中に弔砲が鳴り響きました。その砲音の下、乃木夫妻殉死の知らせが駆け抜けていきます。衝撃を受けた森鴎外はすぐさま『興津弥五右衛門の遺書』の筆を執り・・・。（この続きは、当日、現地で）

今回は、乃木坂から表参道へと続く道を、今は遠くなった明治の面影を求めながら歩いてみます。

殉死の朝の乃木希典と妻朝子

自邸・観潮楼から出勤する森鴎外

西船橋駅・東西線８番線ホーム(先頭)　→　大手町駅(千代田線に乗り換え・最後尾)　→　乃木坂駅・・乃木神社・乃木希典邸　→　青山霊園　→　斎藤茂吉歌碑(青山脳病院跡)　→　『降る雪や明治は遠くなりにけり』の碑　→　根津美術館(入館しない)　→　岡本太郎美術館(入館。６２０円)　→　昼食(パブレストランすけぼー・南青山店・ランチメニュー数種から選択。税込８８０円。事前に予約)　→　表参道駅(１４時頃解散予定)

実施日　平成30年9月29日(土)　(雨天でも実施)

集　合　西船橋駅・東西線8番ホーム(先頭)　午前9時

申　込　9月22日までにメールヌはファックスで

代表：青池（あおいけ）：

＊青池さんのメール、ファックスをご存知の方は直接お送りください。

それ以外の方は下記アドレスにお送りください。

info@waseda2784.net